

学生担当者報 3

発行／天理教学生担当委員会 発行責任者／松村孝吉 編集責任者／福江弘一
[TEL]0743-63-1511 (内線 5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780
[E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website]<http://tsa.tenrikyo.or.jp>

立教182年
平成31年2月25日発行



学生と共に

学生会OBの顔ぶれはというと、幾度か顔を合わせたことのある本部勤務者、若くして教長・教長夫人をつとめる方、働くようぼくと多種多様であった。彼らから学生会の魅力や、當時感じていたこと、普段関わる学生には尋ねにくいこと等を聞かせてもらう中で感じたことがある。語弊はあるかもしれないが、彼らは元から信仰に熱心で会に所属していたわけではなく、初めは「なんとなく楽しい」から始ま

学生担当委員会発足四十年記念学生担当者大会において、表統領先生は「一生付き合いのつもりで育てていただきたい」とお話しくださった。現在私が関わる学生たちも、いづれは彼ら〇Bのように教友として共に御用をつとめることができる日が訪れるかと思うと待ち遠しくてならない。

り、継続して活動を続ける中で少しづつ信仰と向き合い、徐々に確かなそれを培つたということだ。そこには学生たち自身の育つ努力だけではなく、学生担当委員の寄与があつたことは間違いない。また皆が押し並べて、「学生会に携わつたからこそ今の自分がある」と話してくれたことが印象的であつた。それぞれ形は違えど、道に繋がり、教祖の道具衆としての自覚をもつて今を過ごしている彼らを通じて、会活動の意義と学生層育成の重要性を再確認できただよ。

天理教学生会では六千名の動員を目指しているが、本年は敢えて具体的な数值目標を掲げず、「一人一人が周囲の学生に余すことなく声をかけ、おぢばに帰り集う」という趣旨の下、動員を図ることとなつた。現在も全国各地で教会への動員のお願い、会員への呼びかけが学生たちによつて行われている。初めての試みとして、天理大学成人会・ようばく会の協力のもと、親里管内学生を対象にした「Peace」という行事が動員に向けて開催されるなど、更に踏み込んだ自主的な活動も盛んだ。

情けない話ではあるが、私は学生に教えることよりも、彼らから学ぶことの方が圧倒的に多い。頼りがいのない学生部委員ではあるが、せめてもの因返しとして、この絶好の機会を逃さず彼らのバックアップを行うつもりである。私から学生たちに伝えられることは決して多くはないが、率先垂範を小に定め、彼らと共に成人の道を歩ませていただきたい。

立教182年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

学生担当者報

「まなびば」開催会場一覧 《3月開催分》

教区	大阪	青森
開催日時	3月2日14時～ 3日15時	3月16日13時～ 17日13時30分
場所	大江詰所	教務支庁
担当者		
電話番号		

☆実施計画書は2カ月前までにご提出ください。

學生層育成者講習会

立教	182年	2月	25日
・	・	・	期日
場所	時間	立教	182年3月25日
教廈	15時30分受付	16時開始	三月例会
講堂			お知らせ

お
知
ら
せ

報

告

業務記錄

一月例会		業務記録	
去る1月25日、教序4階講堂に於いて「一月例会」を開催。出席は42教区、123直属。		（立教182年1月16日～2月15日）	
・兵庫	1月30日 教務支庁	21日	事務局連絡会
・鳥取	1月30日 教務支庁	22日	三誌一括発送（～23日）
・秋田	1月31日 教務支庁	24日	研修会チーム会議
【直属学生層育成者講習会】		25日	人材育成部部会
・此花	1月24日 詰所	26日	委員会 例会 出版部部会
渡部委員長出向		27日	学修大学の部スタッフ事前研修会（～29日）
92名	中山祥吉委員出向	28日	学修高校卒業生コース
40名	松村委員長出向	29日	スタッフ事前研修会（～28日）
14日	2月6日 まなびばチーム会議	30日	まなびばチーム会議
13日	12日 学修部部会	31日	委員会
15日	14日 学修大学の部研究室会議	1月16日	まなびばチーム会議
・星野一男（甲府・更級）	出版部部会 人材育成部部会	1月17日	事務局連絡会
・富山知一（夕張・栗山）	委員会	1月18日	三誌一括発送（～23日）
・安部善郎（香川・博多）	学修高校卒業生コース研究室会議	1月19日	研修会チーム会議
・田邊幹善（中野・一越）	学生連絡会	1月20日	人材育成部部会
・星野一男（甲府・更級）	web Happist チーム会議	1月21日	委員会
・富山知一（夕張・栗山）	学修高校の部研究室会議	1月22日	学修大学の部研究室会議
・安部善郎（香川・博多）	春の学生おぢばがえり	1月23日	まなびばチーム会議
・田邊幹善（中野・一越）	プロジェクトチーム会議	1月24日	事務局連絡会
・星野一男（甲府・更級）	広報室会議	1月25日	三誌一括発送（～23日）
・富山知一（夕張・栗山）	ビデオチーム会議	1月26日	研修会チーム会議

皆さんこんにちは。お忙しいところお運びいただきましてありがとうございます。新しい年を迎えて、最初の例会でございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、来年度の活動方針を定めましたので、報告をさせていただきます。冊子にも書いておりますが、基本方針は今年度と同じく「誠の心で人材の育成につとめよう」と、させていただきました。昨年の十一月に開催いたしました学生担当者大会の席上、表統領先生は育成について「覚悟を持つてかかることが求められる」。そしてこの覚悟とは、「育てる側である私たち自身の成人の姿勢だ」とお聴かせいただきました。この成人とは、親の恩召に近づく歩みであり、教祖の教えやひながたに自分の考え方や

皆さんこんにちは。お忙しいところお運びいただきましてありがとうございます。新しい年を迎えて、最初の例会でございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

一月例会における「平成三十一年度 活動方針」発表（松村委員長）

一月二十五日・教庁四階講堂

態度や行いを合わせていくように努力することである。そのためにはどれほど年齢を重ね、また経験を重ねても求道という上には、教祖の教え、ひながたに対し常に心を低くしてこの道を求めていかなければならぬ。また、悟りというものはいくらでも深まっていくもの。だから、それを忘れずには生涯が成人の歩みの道中だと心得て、その心構えを学生層の育成に関わる者の基本姿勢として、常に持ち合わせて活動していくようにと、そのような主旨のお話しさせていただきました。

この基本方針を定めて三年目になりますが、正直、言うのは簡単なのすけれども、常に真っ直ぐな心で通るということは非常に大変なことあります。非常に難しい方針であるように思います。しかし、私自身

がこのお道を歩む中にいろいろと迷うことがあつても、最終的にどうしようかなと考えた時には、親神様にすがって、そしてただ教祖のお姿に道を求めて、通つているよう思います。それしか道がないわけです。それならば、教祖が通られた道を真っ直ぐに求める心だけは常に持とうと努力する。昨年よりも少しでもたくさん持ち続けられるように努力する。それが成人する努力といふものだと私は思わせていただきました。

真柱様は今年の「天理時報」元旦号で、「教祖のひながたを目標に世界たすけの歩みを着実に進めていきたい」と、お言葉をくださいました。ひながたを頼りにという御表現ではなく、目標にと仰つてくださつたのが、私個人として、とても味わい深く

平成31年度 天理教学生担当委員会 活動方針

基本方針

『誠の心で人材の育成につとめよう』

重点活動項目

- ・学生生徒修養会、高校生の集い「まなびば」への参加を呼びかけよう
- ・別席をすすめ、ようぼくへと導こう

学生担当者報

今年も学生の受講回数と信仰の深まりを考慮し、よりきめ細やかな丹精ができるよう、初めて受講する学生を対象とする「よふき塾」「いさみ塾」、二回目受講で三年生以下の学生を対象とする「つなぎ塾」、三回目以上受講の学生と二回目受講の四年生以上を対象とする「みのり塾」の四塾に分かれ、塾長・副塾長を中心に、各班の男女カウンセラーが学生の世話を取りにあたり、庶務係・進行係が塾運営を担う体制をとる。研修会では、本期間に実施される「グル

学生生徒修養会 大学の部

スタッフ事前研修会 開催報告

学生担当者報 -

活動方針は今年度と同じ方針でございま
す。しかし、今年度よりも成人できるよう
につとめるという上で来年度もこの方針で
通らせていただきたいと思います。

次に重点活動項目について、来年度は二
点、定めさせていただきました。

一つ目は、「学生生徒修養会」、高校生の集
い『まなびば』への参加を呼びかけよう」。
それから二つ目の項目として「別席をすす
め、ようぼくへと導こう」。そのように掲
げさせていただきます。

表面の育成と内面の育成があると聞かせ
ていただいております。表面での育成とし
て、学生に教えを伝えつつも、人との繋が
りや温もりというものを味わつてもらえる
場所である学生生徒修養会や高校生の集い

ただきました。いずれひながた通り通れる人間へと成人できるように、常に目標を見失わずに通らせていただこうと思つております。

「レブタイム」でのエクササイズの実習を中心に、「受講生と接する際の心構え」についての講義や、男女に分かれての婦人会・青年会の話など、現代の学生との向き合い方、スタッフとしての信仰の伝え方を学んだ。また「おてなおし」や、係ごとの打ち合わせの時間も持ち、本期間におつとめ衣で「おつとめまなび」を行うみのり塾では「着付け講習会」なども行われた。

最終日の講話において松村委員長は、本年のテーマである「感じよう！ 表そう！ 陽気ぐらし」について触れ、学生に少しでも陽気ぐらしを実感してもらい、そして、それに向かう一人ひとりであることなどを伝えられる場になつて欲しい。また、スタッフ全員が学生と共に育つ努力をすることが大切であると話をした。

スタッフ一同はこの研修会を通して学んだことを心に治め、本期間までにしつかりと理づくりと準備に励む心を定め、研修会は閉講した。

「まなびば」へ一回でも多く参加してほしい。少しでもたくさんの高校生や大学生に、そういう場へ誘つてもらいたいという思いで、一つ目の重点活動項目を定めました。学生担当委員会が自信を持つて勧められる行事、それが学修であり高校生の集い「まなびば」であると思います。そこは多くの担当者が力を注いでくれる行事でもあります。そんな場所で、一人でも多くの若者に人と繋がる機会を持ち、道を歩む素晴らしいさを知つてもらいたい。そんな場を与えてあげたい、誘つていきたいなと思います。それぞれ地元で開催していただく「まなびば」で繋がって、おぢばの学修で育てさせていただく。また、学修で導かれた若者たちが、「まなびば」で更なる丹精をいただく。そんな繋がりをもつて育成をしていくたらしいなと思っております。

それから、こうした行事をきっかけとして、出会った学生たちが将来一緒に道を通

つてもらえる、「ようぼく」として導く努力をしていきたい。そういう思いから二つの重点活動項目を決めさせていただきました。「ようぼく」とは席を運んでおさづけの理を頂戴する形の上の「ようぼく」という意味もございます。しかし、既に「ようぼく」となっている学生たちも大勢います。そんな彼らには、おさづけが取り次げる、教祖の手足となるるようぼくへと育つてもらえるように、心を尽くしていきたい。と、そんなことも思つております。

そのようなことで基本方針「誠の心で人材の育成につとめよう」。重点活動項目、一、学生生徒修養会、高校生の集い「まなびば」への参加を呼びかけよう。

一、別席をすすめ、ようぼくへと導こう。

以上の活動方針で四月から活動をして参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

今から三十年前、私が学生会委員長のとき、櫻井学生会では車で寝泊まりしながら、各地で神名流しや路傍講演をする「神名流しキヤラバン」という行事がありました。学担の先生方が準備をして、お手本を見て私たち学生に布教の仕方を教えて下さいました。私の中では非常に心に残った学生会行事でしたが、その後しばらく行われなくなっていました。

時がたつて私が担当委員長になつて、この行事を復活させたいと思いました。時あたかも九州で熊本地震、朝倉の水害の後でしたので、九州方面に行くことに決めました。

九州各地の繁華街や教会の近くで学生たちと路傍講演や神名流し、戸別訪問を行いました。また、朝倉大教会や東肥大教会に参拝させていただき、水害や地震の時の様子、災害救援のひのきしんのことを聞かせていただき、学生達は非常に感銘を受けた。

豐牛二故卷之三田苗委頤公前表頤長

Web〈Happist〉が始まります!!

3月号をもって、紙媒体としての〈Happist〉は終了となり、
4月1日から、Websiteとして生まれ変わります。

旬な情報をよりスピーディーにお届け!

- ◆ 教理を分かりやすく学べる!
- ◆ 学修や春学をはじめ、学生会行事を完全網羅!
- ◆ Happistカメラマンが撮影した写真が見られて、購入できる!
- ◆ 投稿コーナー「らんだむくらぶ」やコラムなどもどんどん更新♪

スマホや
パソコンから
読める!

いつでも
どこでも
移動中や
暗い所でも
読みちゃう!

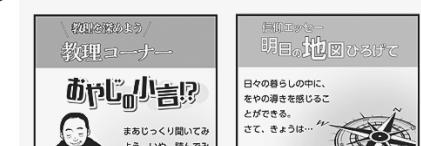
その他にもSNSと連動して、
さまざまな情報を発信していきます!
新しく生まれ変わる〈Happist〉。
乞うご期待!!



NEWS & INFO.

- イベント NEW**
2019.03.29 直属アワード集
- イベント NEW**
2019.03.28 春の学生おぢばがえり 前夜祭開催
- 更新情報 NEW**
2019.03.22 教理コーナー更新!
- イベント**
2019.03.28 春の学生おぢばがえり 前夜祭開催
- 更新情報**
2019.03.22 教理コーナー更新!

VIEW MORE



*サイト画像は2019.1.25現在のイメージです。

*サイトの内容は変更になる場合があります。

「学生生徒修養会 高校卒業生コース」に先立ち、一月二十七日から二十八日にかけて、本部十二母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を行い、組運営スタッフ・カウンセラーなど百五十名が参加した。本コースは、高校卒業という人生の大きなターニングポイントを迎える高校卒業生を対象に、卒業後、どのような環境においても、おぢば、教会に繋がり、教えを抛り所とした生活を送ることができるように、親神様の御教えを学ぶとともに、同世代との繋がりを深めることを目指した内容となっている。定員は昨年より百名増の五百名としている。

研修会で、スタッフは本期間に実施さ

れる「グループタイム」でのエクササイズの実習を行い、その体験を通して、本期間の進め方を学んだ。松村委員長は講話にて、卒業後、大学や社会に出て色々な経験をしていくその前に、「おぢば」や「親」の存在の大切さを伝え、自分は守られて今があることに気付いてもらいたいと話し、そのためにも我々スタッフ一同が「をやに凭れて通る」ことが大事であると話した。

一月二十七日には「大学の部」、「高校卒業生コース」のスタッフが一堂に会し、表統領 中田善亮先生からご挨拶をいただき、一手一つに人材育成のご用をつとめる決意をした。

New Item

デザインが新しくなりました!

販売価格
Happist タオル 300円



学生担当委員会事務局にて
絶賛発売中!!

カラーは全4色!
グリーン、ブルー、パープル、ピンク